

■運営委員会 委員長 水谷孝一(筑波大) ■運営委員会幹事会 代表:酒井啓司(東大) 副代表:中村健太郎(東工大), 松川真美(同志社大)
 委員:伊藤洋一(日大), 荻博次(大阪大), 垣尾省司(山梨大), 金井浩(東北大), 黒澤実(東工大), 小池義和(芝浦工大), 近藤淳(静岡大), 崔博坤(明治大), 野村英之(電通大), 橋本研也(電子科大), 長谷川英之(富山大), 蜂屋弘之(東工大), 三浦光(日大), 森田剛(東大), 山口匡(千葉大), 渡部泰明(都立大) ■監事:柳引淳一(東北大), 渡辺好章(同志社大)
 ■実行委員会 委員長:荻博次(大阪大) 副委員長:垣尾省司(山梨大)
 委員:近藤淳(静岡大), 野村英之(電通大), 長谷川英之(富山大), 松川真美(同志社大)
 ■現地実行委員会
 委員:小山大介(同志社大), 坂本真一(滋賀県立大), 高柳真司(同志社大), 土屋隆生(同志社大), 長谷芳樹(ピクシーダストテクノロジーズ), 野村英之(電通大), 長谷川英之(富山大), 細川篤(明石高専), 松川真美(同志社大), 山本健(関西大)
 ■論文委員会 委員長:山口匡(千葉大) 副委員長:野村英之(電通大) 委員長補佐:浅見拓哉(日大)
 委員:梅村晋一郎(東北大), 大川浩一(秋田大), 荻博次(大阪大), 小田川裕之(熊本高専), 垣尾省司(山梨大), 工藤すばる(石巻専修大), 工藤信樹(北大), 小林牧子(熊本大), 小山大介(同志社大), 近藤淳(静岡大), 椎名毅(芝浦工大), 志村拓也(海洋研究開発機構), 竹内真一(東京都市大), 田中秀治(東北大), 土屋健伸(神奈川大), 中村健太郎(東工大), 新田尚隆(産総研), 橋本研也(電子科大), 長谷川英之(富山大), 蜂屋弘之(東工大), 原田明(九州大), 樹田晃司(農工大), 松川真美(同志社大), 水谷孝一(筑波大), 三原毅(島根大), 森和義(防衛大), 森田剛(東大), 安井久一(産総研), 柳谷隆彦(早稲田大), 山本健(関西大), 渡部泰明(都立大)
 ■運営委員会委員
 會澤康治(金沢工大), 青柳学(室蘭工大), 赤尾慎吾(ボールウェア), 浅田隆昭(村田製作所), 足立和成(山形大), 阿部洋(トーキン), 荒川元孝(東北大), 李香福(日女大), 生嶋健司(農工大), 石井孝明(山梨大), 伊藤一陽(農工大), 井原郁夫(長岡技科大), 今野和彦(秋田大), 岩瀬良一(海洋研究開発機構), 上田政則(太陽誘電モバイルテクノロジー), 海老原格(筑波大), 遠藤信行(神奈川大), 大久保寛(都立大), 大隅歩(日大), 大平悦三(桐蔭横浜大), 大橋雄二(東北大), 大平克己(ジャパンプローブ), 大村眞朗(富山大), 大森達也(千葉大), 小笠原英子(防衛大), 興津健二(大阪公立大), 沖村康之(日本特殊陶業), 小原良和(東北大), 神山直久(GEヘルスケア・ジャパン), 川畑健一(富士フイルムヘルスケア), 神田岳文(岡山大), 菊池年晃(防衛大), 木村友則(三菱電機), 黒山喬允(防衛大), 黄啓新(神奈川工大), 小塚晃透(愛工大), 後藤令(スカイワークスフィルムソリューションズ), 小林和人(本多電子), 小林恒夫(日本電波工業), 西條芳文(東北大), 齋藤敦史(芝浦工大), 齋藤晋聖(北大), 齋藤史郎(東芝), 坂本真一(滋賀県立大), 佐藤隆幸(都立大), 佐藤雅弘(富山大), 鹿田真一(関西学院大), 沈青(電通大), 神雅彦(日工大), 末利良一(古野電気), 杉本恒美(桐蔭横浜大), 善甫啓一(筑波大), 副島潤一郎(カインジョー), 高崎正也(埼玉大), 高嶋昭一(沖電気工業), 田川憲男(都立大), 瀧宏文(マリ), 田原麻梨江(東工大), 田村和輝(浜松医科大), 田村英樹(東北工大), 辻俊宏(東北大), 辻本敏行(堀場製作所), 土屋隆生(同志社大), 土屋利雄(東京海洋大), 鶴ヶ谷芳昭(三陽精工), 鶴田健二(岡山大), 長岡亮(富山大), 中川誠司(千葉大), 長久保白(大阪大), 中曾教導(凸版印刷), 永田肇(東京理科大), 長谷芳樹(ピクシーダストテクノロジーズ), 中村暢伴(大阪大), 西野秀郎(徳島大), 野毛悟(沼津高専), 則末智久(京都工繊大), 畑中信一(電通大), 林高弘(大阪大), 平田慎之介(千葉大), 平野太一(明治大), 飛龍志津子(同志社大), 福山敦彦(宮崎大), 藤井知(豊橋技科大), 細川篤(明石高専), 細田真妃子(東京電機大), 増山裕之(鳥羽高専), 松田理(北大), 水野勝紀(東大), 水野隆(コニカミノルタ), 美谷周二朗(東大), 宮崎尚(防衛大), 宮地幸哉(富士フイルム), 宮本隆典(東京海洋大), 森直樹(大阪大), 山川誠(京都大), 山田顕(東北学院大), 山本弘(日立建機), 山本満(日本電気), 吉岡正裕(産総研), 吉澤晋(東北大), 吉田憲司(千葉大), 若槻尚斗(筑波大), 和高修三(アミック), 渡邊佳孝(海洋研究開発機構), Jungsoon Kim (Tongmyong Univ.), Moojoon Kim (Pukyong National University), Yuu Ono (Carleton University), Kyu-Chil Park (Pukyong National Univ.), Younggyu Son (Kumoh National Inst. of Tech.)
 ■顧問 大谷隆彦, 岡野光治, 尾上守夫, 門田道雄, 川端昭, 柳引淳一, 小島誠治, 崔博坤, 齋藤繁実, 清水康敬, 高木堅志郎, 中鉢憲賢, 富川義朗, 永井啓之亮, 中川恭彦, 中村信良, 野村浩康, 橋本研也, 山口正恒, 山中一司, 山之内和彦, 渡辺好章, Kang-Lyeol Ha

シンポジウム開催期間 11月7日(月)～11月9日(水)

USE2022は対面にて開催する予定ですが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、オンライン開催に切り替える可能性があります。

講演申込締切	7月 6日(水)	24:00JST
論文集原稿(A4x2頁) 締切	8月 3日(水)	24:00JST
講演者参加申込・支払締切*	9月28日(水)	
参加費事前割引支払締切	10月28日(金)	
JJAP論文特集号原稿締切**	11月16日(水)	

*講演者の振込は論文委員会の結果が通知されてからお願いします
 **英国のビジネスアワー内に手動でクローズされます



この時期の京都は観光のハイシーズンです。ホテル等の早目のご予約をお勧めします。

シンポジウム会場

同志社大学 室町キャンパス 寒梅館

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103

<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/muromachi.html>

- 地下鉄「今出川」駅から徒歩1分
- 京阪「出町柳」駅から徒歩20分
- バス「烏丸今出川」バス停から徒歩3分

期間：2022年11月7日(月)～9日(水)

会場：同志社大学 室町キャンパス 寒梅館 (京都府京都市)

<https://use-jp.org>

第43回 超音波エレクトロニクス の基礎と応用に関するシンポジウム

主催：超音波エレクトロニクス協会USEシンポジウム運営委員会

後援：応用物理学会

協賛(依頼中含)：

映像情報メディア学会/海洋音響学会/精密工学会/弾性波素子技術コンソーシアム/超音波工業会/
 電気学会/電子情報通信学会/電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ音響・超音波サブソサイエティ/
 日本音響学会/日本化学会/日本機械学会/日本金属学会/日本生体医工学会/日本ソノケミストリー学会/
 日本超音波医学会/日本非破壊検査協会/日本物理学会/日本分光学会/日本分析化学会/
 日本分析機器工業会/非線形音響研究会

USE ホームページから「超音波用語辞典(電子版)」が自由に閲覧できます。

The 43rd Symposium
on
UltraSonic Electronics

USE
2022

November 7-9, 2022,
Kyoto, Japan
Kanbaikan,
Doshisha University



USE 2022

ごあいさつ

USE2022 運営委員長
水谷 孝一 (筑波大学)

本超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウムは、「超音波関連分野の基礎から応用に携わる研究者が一堂に会し、発表と討論を通じて互いの成果を共有し、学術の進展に寄与すること」を目的として1980年12月に第1回が開催されました。以来、この基本理念を堅持しながら毎年開催され、今年第43回を迎えます。本シンポジウムで得られた多くの学術的成果は、英語講演論文集としてWeb公開しております。更に、regular paper または brief note として投稿・採択された学術論文は、応用物理学会英文誌：Japanese Journal of Applied Physics (JJAP) のUltrasonic Electronics 特集号として毎年収録され、世界的にも高い評価を受けています。また、この学术交流の場を、国内外を問わず、より多くの研究者・技術者に提供するために、講演論文集の英文化、英語口頭セッションの設置等、国際化を進めて参りました。その結果、韓国、台湾、中国、欧米などからの参加者は10%以上を占め、アジアにおける超音波研究発表の場を代表する会議と成長してきました。

2022年は、同志社大学・室町キャンパス・寒梅館(京都府京都市)にて2022年11月7日(月)～9日(水)に開催いたします。これまで以上に多くの皆様に御参加いただき、共に有意義な時間を過ごすことができることを祈念しております。

■超音波シンポジウム論文賞

本シンポジウムで発表し、さらに、Japanese Journal of Applied Physicsに論文として公表された超音波に関する研究成果であって、科学と技術の発展に顕著な貢献が期待されるものを選定し、超音波シンポジウム論文賞 (Symposium on Ultrasonic Electronics: Best Paper Award) を贈呈します。

■超音波シンポジウム奨励賞

本シンポジウムにおいて優れた口頭発表またはポスター発表を行った第一著者かつ登壇者(ポスターの場合は発表者)で、シンポジウム開催翌年(今回は2023年)の4月1日未満37歳以下の方を対象として、超音波シンポジウム奨励賞 (Symposium on Ultrasonic Electronics: Young Scientist Award) を贈呈します。意欲ある優秀な研究者は講演申込時に申請してください。

両賞とも授賞式は次年度のシンポジウムで行ないます。

USE 2022

論文募集分野

1. 超音波物性, 材料, フォノン物理, 光超音波エレクトロニクス
2. 測定技術, 映像法, 非破壊評価
3. 圧電デバイス(バルク波デバイス, 弾性表面波デバイス)
4. 非線形, 強力超音波, ソノケミストリー
5. 生体医用超音波
6. 海洋音響

JJAP 特集号論文投稿について

(Web投稿先は講演採択者にお知らせします。)
論文委員長 山口 匡(千葉大学)

【論文関係問合せ先】 program@use-jp.org
山口 匡(千葉大学)

センキョウ (投稿Webサイト技術サポート)
Tel: 022-236-7161 Fax: 022-236-7163

■講演申込(7月6日(水)24:00JSTまで) USEホームページから申し込んで下さい。この申し込みデータは論文委員会において採否決定に使われます。皆様の積極的な参加をお待ちしています。また、超音波シンポジウム奨励賞の申請者は講演申込とともに申請登録を忘れずに行ってください。

■講演論文集の原稿(8月3日(水)24:00JSTまで) 文字化けを防ぐため doc, pdf 形式の両方をホームページからご提出下さい。執筆要綱, テンプレートもホームページをご参照下さい。過去の講演論文集は USE ホームページから閲覧することができます。講演論文は、シンポジウム終了半年後ごろにホームページに公開します。このことに支障のある方は、原稿提出時にお申し出下さい。

■講演採択の決定 論文委員会が審査を行い、採否と発表形式(口頭・ポスター)を決定します。採択通知は9月上旬ごろに電子メールで講演申込者に配信予定です。

■講演者の参加申込・支払および講演登録料支払(9月28日(水)まで) 講演原稿が採択された講演者は、必ず期限までに参加申込を済ませ、参加費および講演登録料(1件5,000円)をお支払い下さい。お支払いの際は講演者名義で発表1件ごとにお支払い下さい。

■JJAP特集号論文の原稿(11月16日(水)まで) 講演が採択され、USEにて発表の方はJJAP(Japanese Journal of Applied Physics)特集号に原著論文を投稿することができます。通常号と同様の査読プロセスにより採否を決定します。投稿はWebで行いますが、投稿先URL, 投稿要領はシンポジウム講演の採択通知後にお知らせします。JJAP論文のIOP移行に伴い、投稿・審査・出版手続き等が変更されております。また、受付は英国のビジネスアワー内に手動でクローズされます。詳細はHPでご確認ください。

USE 2022

懇親会

懇親会を開催予定です。詳細についてはホームページでお知らせします。

総合問合せ先

実行委員長
萩 博次(大阪大学)
steering@use-jp.org

■参加申込 参加される方はUSEホームページ上でアカウントを取得し、作成されたマイページ上からお申し込み下さい。参加費は下記のとおりです。講演登録料も支払えます。支払いはクレジットカードまたは専用の郵便振替用紙を用いて参加者一人ずつ行ってください。所属機関から郵便振替で送金される場合は、振替用紙に参加者ご本人の氏名を明記して下さい。

郵便振替口座番号: 00970-4-235199 加入者名: NPO法人 超音波エレクトロニクス協会
クレジットカード払い方法についてはUSE2022ホームページをご参照ください。なお、シンポジウム当日のお申込み・支払いはお受けできません。事前にホームページから指定の期日までに参加申込み・支払をお済ませいただき、ご参加ください(郵便振替は10月28日(金)までに、クレジットカードは11月4日(金)正午までとします)。また、10月28日(金)までに参加費を送金される場合は割引価格が適用されますので、早めの申し込み、お支払いをお勧めします。

■参加費10月28日(金)まで: 18,000円(一般) 5,000円(学生) 8,000円(retired*)
10月29日(土)～11月4日(金)正午: 23,000円(一般) 8,000円(学生) 8,000円(retired*)

*retired 大学, 企業等を退職されて所属の無い方

講演者につきましては、9月28日(水)までに参加費・講演登録料のお支払いがない場合は、講演を取り消させていただきます。一般参加費には講演論文集とJJAP特集号(CD-ROM・刊行後送付)の代金が含まれますが、学生参加費・retired参加費には講演論文集のみ含まれます。また、今回一般参加申込みをされた方には次回のシンポジウム案内を差し上げる予定です。